

平成21年9月15日
原子力安全対策室

志賀原子力発電所2号機 燃料集合体上部での異物の発見について
(8月18日の続報)

本日午前9時00分頃、北陸電力(株)より、本日午前5時に、定期検査中の志賀原子力発電所2号機原子炉内において、燃料装荷検査(燃料集合体に刻印された番号により配置を確認する検査)実施中に燃料集合体上部に異物(布状の切れ端のようなもの)を発見したとの連絡があった。

北陸電力では、本日中に異物を回収することとしており、また、既に他の燃料集合体上部に同様の異物がないことを確認している。

原子力安全対策室では、北陸電力(株)に対して、原子炉内の清掃時及び燃料装荷検査時に、再度、異物の有無を確認することを指示しており、今回は、この燃料装荷検査時において異物を発見したものの。

原子力安全対策室では、志賀町と共に午後1時より立入調査を実施し、布の形状や付着の状況等を確認することとしている。

なお、外部への放射性物質による影響はない。

本件は、連絡基準Ⅱ「速やかな連絡が必要なもの」に該当するものの続報として、北陸電力から連絡があったもの。

原子力安全対策室 (直通) 076(225)1465 (県庁内線) 4234
--